

精密検査を受けましょう



健康たかはま21

検診結果を再確認してみよう

「がん検診」の結果「要精密」と判定された方、「精密検査」を受けていますか？「要精密」とは「がんを含めた病気の疑いがある」ということです。

検診は病気の早期発見を目的に行われています。病気を見逃さないよう、精密検査を受けましょう。

昨年精密検査を受診しなかった方の理由は次のとおりです。

がんにもよりますが、初期症状がない場合も多くあります。早期に治療を開始すれば体の負担も少なくすみます。

せっかく健診を受けるのですから、あなたの健康維持にぜひ役立ててください。

精密検査を受けなかった理由(平成25年)

- 1位：症状がなかった(27%)
- 2位：忙しかった(13%)
- 3位：忘れていた(10%)
- 4位：検査を受けるのがつらい(7%)

問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎ 52-9871

コラム

認知症とこれから

今月のテーマ 「家族の気持ち」

認知症は65歳以上の高齢者の約15%にあらわれると推計されています。全国で460万人以上。認知症の家族を介護するのは、もう特別なことではありません。

認知症介護では「疲れ、家事時間の増加、時間のやりくりの難しさ、仕事の両立、体調不良」などの介護負担に加え「親族、家族の関係がうまくいかなかった」「まわりの人の態度が変わった」「ご近所との関係がうまくいかなかった」など、人間関係の問題、ストレスを抱える介護者が少なくありません。認知症の人の対応やまわりとの関係に苦慮し、心身の疲れを感じます。認知症は「地域や家族を巻き込む病気」です。

認知症になると意欲低下から家に閉じこもりがちになる人もいますが、地域と接点を持って生活している人もたくさんいますし、それが認知症の進行を緩やかにする方法のひとつでもあります。認知症の人の家族は「まわりに迷惑をかけているのでは」「どう思われているのかな」という心配を抱くことがあります。周囲の理解やちょっとした声かけで介護者の気持ちはぐっと楽になるのではないのでしょうか。認知症は誰もがなりうる病気です。「お互いさま」の気持ちで認知症の人や家族を温かく見守れる地域。高齢化が進む社会の目標のひとつではないかと思えます。

※出典／一般社団法人 日本ケアラー連盟「ケアラー手帳」

認知症についての相談
はこちらへ

いきいき広場内福祉まるごと相談グループ ☎ 52-9610

認知症介護相談(認知症の人と家族の会)平日(月～金)午前10時～午後4時 ☎ 0562-31-1911